

\*本リリースは 11 月 15 日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2012 年 11 月 16 日

## デルタ航空、ボーイング 747-400 型機へのフルフラットベッドシート導入を完了

**【米国アトランタ、2012 年 11 月 15 日】** - デルタ航空 (NYSE: DAL) はこのほど、ボーイング 747-400 型機、全 16 機の内装刷新を完了しました。ビジネスクラス「ビジネスエリート」には、完全に水平になるフルフラットベッドシートを導入し、エコノミークラスにはオンデマンド型の個人用オーディオ・ビデオモニターを装備しました。

改装後の 747 型機は、ビジネスエリート 48 席、エコノミーコンフォート 42 席、エコノミー 286 席の、計 376 席となります。新シートの概要は以下のとおりです。

### ビジネスクラス「ビジネスエリート」

1 階席と 2 階席にある「ビジネスエリート」の座席数は計 48 席となり、全座席ともフルフラットベッドシートで通路に面しているため、隣のお客様を気にすることなく座席への出入りが可能です。各座席には 110 ボルトの電源、USB ポート、読書用 LED ライトが装備され、15.4 インチのワイドビデオスクリーンでは、300 本以上の映画、計 88 時間以上のテレビ番組、計 100 時間を越える HBO や Showtime などのプレミアプログラム、27 種類のビデオゲーム、5,000 曲以上のミュージックトラックなど、米国航空会社の中で最多の合計 1,000 種類以上からお好きなプログラムをお選びいただけます。

### 「エコノミーコンフォート」

他の国際線長距離路線用機材と同様に 747 型機のエコノミークラスには「エコノミーコンフォート」を導入しています。エコノミーコンフォートの座席はシートピッチが 35 インチ (約 90 センチ) あり、標準的な国際線エコノミークラスの座席よりも足元のスペースが最大 4 インチ (約 10.2 センチ) 広く、リクライニング角度が 1.5 倍となります。747 型機には 42 席のエコノミーコンフォート座席が設置されています。

### エコノミークラス

ボーイング 747-400 型機のエコノミークラスには、薄型の「スリムライン」シートを導入しました。これにより、お客様のひざ周りのスペースが最大 2 インチ (約 5 センチ) 広がります。全座席に角度を調節できるウイングを備えた可動式ヘッドレストを装備し、快適性を高めました。また、各座席に USB ポートと 9 インチ大のパーソナルスクリーンが設置されています。最新機能を備えたタッチスクリーンでは、ビジネスエリートと同じ豊富なラインナップのコンテンツを無料で楽しみいただけます。

デルタ航空のマーケティング、ネットワーク、およびレベニューマネジメント担当執行副社長、グレン・ホーエンスタイン (Glen W. Hauenstein) は次のように述べています。「ビジネスクラスでは、通路に面したフルフラットシートを望まれるお客様が多いため、より快適なフライトを提供すべくすべての長距離路線での導入を進めています。改装を終えた 747 型機は、アメリカとアジア、中東間の路線で運航されます。」

デルタ航空では長距離路線用の機材の内装刷新を進めています。現在までにボーイング 777 型機、767-400 型機全機のほか、767-300ER 型機 13 機へのフルフラットベッドシートの導入を完了し、11 月末までに 767-300ER 型機 3 機が完了予定です。これまでに、140 機以上ある国際線長距離用機材のうち、約半数のアップグレードが完了し、2014 年中旬までに全ての対象機材のアップグレードを終える見込みです。

747 型機は現在、成田発ニューヨーク、アトランタ、デトロイト、ホノルル、マニラ、台北行きの路線など、おもに成田発着の太平洋路線およびアジア路線に使用されており、来年 6 月には成田-シアトル間でも運航される予定です。(使用機材は時期や機材繰りにより変更される場合があります。)

国際線長距離路線用機材の内装刷新計画は、2015 年までに総額 30 億ドルを投じて進めている機内プロダクトやサービス、空港施設とテクノロジー導入プロジェクトの重要な要素です。同プロジェクトには今年春にオープンした

アトランタ空港新国際線ターミナル(メイナード・ジャクソン・ジュニア国際線ターミナル、2013年オープン予定のニューヨーク JFK 空港の第四ターミナル拡張)、世界 50ヶ所の空港ラウンジ「デルタ スカイクラブ」の新設および改装、空港ロビーへの充電スタンド設置などが含まれます。

新シートの動画はデルタ航空 YouTube オフィシャルチャンネルでご覧いただけます。  
<http://www.youtube.com/watch?v=xIxLKOv7Vg&feature=plcp>

デルタ航空は年間 1 億 6,000 万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。トラベルウィークリー誌の読者により「2011 年米国内ベストエアライン (domestic “Airline of the Year”) や、PCWorld 誌の「最もテクノロジーの進んだ (Tech-Friendly) 米国航空会社」に選出されたほか、ビジネストラベルニュース誌のエアラインサーベイ、エグゼクティブ・トラベル・マガジンのリーディング・エッジ・アワードなどを受賞しています。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界 58 カ国、313 都市に向けてフライトを運航しています。世界で 8 万人以上の従業員を擁し、700 機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合 (アライアンス) 「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク (ラガーディア)、ニューヨーク (JFK)、ソルトレイクシティ、パリ (シャルルドゴール)、アムステルダム、東京 (成田) をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に 1 万 3,000 便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に 50 箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は 2013 年にかけて総額 30 億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ [delta.com](http://delta.com) をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部

e-mail: [corpcommjapan@delta.com](mailto:corpcommjapan@delta.com)

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>